

2023 年度事業計画

I.基本方針

1. 「第2次中長期経営計画」に基づく各プロジェクトの検証と改善を図り、効果的な施策を実施する。
2. 2022年度以降の入学者数の減少に鑑み、定員確保に向けた早急な対応と中期的計画の立案を推進する。
3. システムリプレイスを活かして、職場環境の改善と業務の合理化を図る。

II.事業計画(2023年度新規事項:波線)

1. 教育に関する事項

- ◇ 教学マネジメント室と教務委員会との連携による教育の質向上に向けた取り組み
 - ・新カリキュラムの実施状況の検証と改善
 - ・ルーブリックの検証と改善
 - ・主専攻・副専攻の実施と検証および研究室配属の詳細検討
 - ・ポータルシステム(学生と教職員の相互ツール)による情報共有の促進
 - ・学生の意見を教育改善へ取り入れる取り組みの実施(意見交換会、アンケート)
- ◇ FD(Faculty Development)・SD(Staff Development)推進委員会によるFD・SD・FSDの推進
 - ・授業アンケートや授業の相互見学の改善
 - ・先進事例や社会と制度の変革にかかる研修等を共有し、授業の改善を促進
 - ・ICT活用・遠隔授業の改善
- ◇ 退学者対策部会による休退学者低減に向けた取り組み
 - ・ホームルームを活用した修得単位不足の学生の早期指導
 - ・学生課、ふれあいルームとの連携強化
 - ・IRデータ分析に基づく実効性の高い仕組みの構築
 - ・入学前教育の実施及び検証
- ◇ 教養教育センターの運営
 - ・教養科目の振り返りと改善
 - ・専門科目との連携(Fゼミほか)
 - ・論文校閲など大学院生を支援
 - ・入学前教育の実施
 - ・社会人教育講座の実施
 - ・データサイエンス関連事業(データリテラシー・AI基礎)の実施
- ◇ 情報メカトロニクス学科の運営
 - ・新カリキュラムの検証及び改善
 - ・新規設備の導入による特色ある授業の実施
 - ・学生の成果発表の場の充実
 - ・情報系学生プロジェクトの立ち上げ支援及び学生フォーミュラやNHK大学ロボコン、宇宙開発研究の支援
拡充

◇ 建設学科の運営

- ・新カリキュラムの効果を把握し、コースや科目の在り方を検証
- ・学生の取組みにかかる情報発信の促進
- ・各種競技会への参加、技能五輪への派遣など、特別教育活動の強化推進
- ・クラウドファンディングの実施
- ・高校生建築設計競技の実施

◇ 大学院の運営

- ・学内進学者の確保
- ・成長分野における即戦力人材輩出に向け、リカレント教育のコンテンツを検討

◇ インターンシップの実施

- ・学生の希望に沿った受入先の新規開拓（特に、情報メカトロニクス学科向けを強化）
- ・県内企業を中心とした受入先の拡充
- ・埼玉県経営者協会や各種団体等と連携し、情報交換の機会を拡大

◇ 教育環境整備

- ・施設・設備計画部会による設備マスタープランに沿って、情報メカトロニクス学科の設備を導入（再掲）
（文部科学省の補助事業の獲得を目指す）

◇ 高大連携事業

- ・埼玉県教育委員会と締結した協定書のもと、県内高校との連携事業を実施
- ・紹介冊子の作成

2. 学生募集及び入学試験に関する事項

◇ 学生募集戦略の策定、実行、評価

- ・受験生が直接大学を見る機会やイベント（オープンキャンパス、進学相談会、大学見学会ほか）の充実と参加者へのフォロー強化
- ・受験生に直接説明する機会やイベント（校内説明会、会場ガイダンス、資料頒布会ほか）の充実
- ・非接触の受験生への広報拡充（SNS、WEB媒体の拡大ほか）
- ・女子学生確保に向けた対策（女子学生スタッフの活用、ガールズノート、実習体験教室、女子スカラシップ入試ほか）
- ・留学生確保に向けた対策（日本語学校フォロー、経済的支援、留学生WEBサイトの活用ほか）

◇ 入試制度改革の推進

- ・新入試の追加及び変更、日程の検討
- ・推薦入試や推薦スカラシップ入試など年内入試のPR
- ・WEB出願の実施
- ・共通テスト利用入試の検定料免除を実施
- ・地方入試会場（水戸会場）の増設
- ・高専からの編入学受入れの促進

3. 学生生活指導に関する事項

◇ 学生の心身の健康管理体制の充実

- ・長期休み明けにアンケート調査を実施し、学生支援を強化
- ・障害のある学生への支援

◇ 留学生支援

- ・対面式在籍管理(月1回)の実施
- ・日本語向上に向けたサポートプログラムの実施
- ・マンツーマン体制のチューター配置
- ・在留期間更新等の申請取次業務を大学がオンライン手続きで実施
- ・他部署との連携による総合サポートの実施
- ・留学生の就職に係る在留資格変更手続き等のサポートを実施

◇ 学生の安全管理

- ・学内外の安全対策及び法令遵守教育等の指導(緊急時訓練ほか)
- ・不測の事態に備える保険加入の促進

◇ 学生への経済支援

- ・メールやWEBサイトを活用し、奨学金情報の提供を推進
- ・日本学生支援機構奨学金の説明会を実施、併せて返還指導を徹底
- ・独自奨学金の募集を年2回実施

(独自奨学金: 創立10周年記念ものづくり大学生生活支援奨学金、ものづくり大学奨学金、ものづくり大学さくら奨学金、ものづくり大学同窓会奨学金、総合資格学院奨学金等)

◇ 課外活動の支援

- ・学生の自主的活動である各種クラブ・サークル団体への補助金給付
- ・地域に開かれた学園祭の実施を支援

◇ その他学生支援

- ・国民年金保険料の学生納付特例制度の申請手続き代行業務の実施
- ・他大学との情報交換・情報収集による学生支援業務の充実

4. 学生の就職対策に関する事項

◇ キャリア育成

- ・大学生活の中でのキャリアアップや将来像の創造への早期取組みを指導
- ・キャリアプランノート(第3版)を活用した学生の学習意欲の醸成と社会人基礎力の向上
- ・社会情勢に沿った社会人基礎力育成講座の充実
- ・企業研究交流会や合同企業説明会、OB・OG交流会の実施
- ・地元企業との連携による企業訪問や見学バスツアーを実施

◇ 就職支援体制

- ・学生のニーズに合った就職先との関係構築、開拓
- ・対面とオンラインを併用したキャリアカウンセリングの実施
- ・各研究室教員による就職指導と学生課による就職支援活動の連携強化
- ・保護者向け就職ガイダンスの実施

◇ 就職活動支援

- ・個別支援を強化するための仕組みの構築
- ・主要企業志望学生向け勉強会の実施
- ・就職力強化合宿の開催と支援内容の検証
- ・SPI 強化対策講座の充実

5. 国際・地域交流事業及び社会貢献に関する事項

◇ 国際交流事業

- ・交換留学プログラム再開に向けた現地受入企業の確保
- ・交換留学プログラム再開に向けたプログラムの再構築

◇ 地域等交流事業

- ・地域との共催公開講座の実施内容など連携方針の見直し
- ・地域連携推進・渉外室を中心に、地域の自治体等と締結した連携協定に基づく事業を実施
(ものづくり教室、子ども大学、公開講座)
- ・彩北未来PROJECT及び三大学連携事業(学園祭ブース出展、合同研究発表会、子ども大学の相互協力など)の実施
- ・「ものづくり大学埼玉県地域連絡協議会」の実施
- ・「ものづくり大学教育研究推進連絡協議会」の実施

◇ 社会人教育事業

- ・講座運営管理のためのアプリ開発
- ・企業や団体の研修受入れ
- ・製造関連及び建設関連並びにリベラルアーツ関連の講座を開講
- ・企業ニーズを把握するためのヒアリングの実施

6. 図書情報センターの運営に関する事項

◇ 図書情報センターの環境整備

- ・書籍(電子書籍を含む)、雑誌、視聴覚資料などの購入方法(オンラインサービスほか)を検討
- ・ラーニングコモンズの設置を検討
- ・会話を可能とするスペース(談話室)の設置を検討
- ・他大学の図書館及び地域や企業と連携し、Twitterを利用した学内外への情報配信を実施
- ・本学リポジトリの論文アイテム数の充実

7. 研究等の支援に関する事項

◇ 学内研究支援

- ・学長主導により各種学内プロジェクトを支援(学長裁量費)

◇ 研究環境整備

- ・施設・設備計画部会による設備マスタープランに沿って、設備を導入(再掲)

◇ 外部資金の確保

- ・科学研究費補助金獲得のための支援
- ・教員の研究テーマ発信強化(展示会等への出展や会報誌への寄稿、パブリシティの強化)
- ・地域の経済団体、企業の個別訪問の実施
- ・企業の課題解決に応える技術相談
- ・知的財産の管理及び支援

◇ その他の研究支援

- ・不正行為防止、安全保障輸出管理、人を対象とする研究倫理などのリスク管理の実施

8. 情報システムの運用に関する事項

◇ 情報システムの稼働及び運用

- ・学内システムの安定稼働のための組織体制改善
- ・情報セキュリティの高度化とマネジメントの強化及び教職員研修の充実
- ・事務局ファイルサーバ及び事務支援システムのリプレースの実施
- ・証明書発行サービスの導入

◇ 次期リプレースの検討

- ・2024年4月稼働の新ネットワークシステム及び教育研究システムについて検討

◇ 学生へのICT支援の推進

- ・PC サポートコーナー運営の見直しを継続し、学生への支援を推進

9. 施設、設備の管理等に関する事項

◇ 施設設備計画部会を中心とした中長期施設設備計画の立案

- ・設備老朽化問題に向け、支出を抑制した修繕計画を検討
- ・施設設備全般の光熱水費にかかるランニングコストの削減計画を検討(更新時の仕様に反映)

◇ 施設、設備の更新等

- ・施設の更新

(図書情報センター及び中央棟2階実習場空調設備工事(文部科学省の補助事業の獲得を目指す))

- ・設備の更新

(大学会館厨房機器、中央棟大講義室映像設備、自動火災報知機、製造棟逆洗ポンプ、ろ過ポンプ)

◇ 施設、設備の修繕

- ・エレベーター、各棟雨漏れ部分補修、浸水防止対策 ほか

◇ その他施設設備の管理

- ・日常点検と定期保守による施設設備の延命化

10. 組織運営に関する事項

◇ 広報委員会を中心とした学内外に向けた広報の計画立案・実施

- ・デジタルコンテンツの強化

(WEBサイトの改修、オウンドメディア(MonoGram)の運用、キャンパスマップの3D化ほか)

- ・SNSの運用と教育研究成果等の効果的配信のための改善
- ・動画制作のための機材整備
- ・報道機関との関係構築
- ・ものづくり大学通信による情報発信(年3回)
- ・寄付者向けノベルティグッズの制作
- ・開学20周年記念募金事業の募集(最終年)、銘板作成
- ・大学グッズの販売

◇ 危機管理委員会を中心とした危機管理に対する取組み

- ・災害予防対策及び緊急時の組織体制や対応マニュアルの見直しを実施
- ・法令順守の指導

◇ 財務マネジメント室を中心とした大学運営の取組み

- ・中長期の健全な大学運営のため戦略検討及び実施
- ・財務状況の学内共有化
- ・補助金獲得にかかる支援

11. 人事に関する事項

◇ 人材育成

- ・適切な人材確保と適材適所の配置の検討
- ・FSD研修会(年4回)のほか、職務遂行能力向上のための研修参加を推進
- ・教員の業績評価の改善
- ・業績評価の適正な運用